



# とうえい

令和4年1月11日  
東栄小学校  
学校だより第9号

## 継続は力なり！

うらかな新春を迎え、3学期始業式の日には、子どもたちの元気よく登校する姿を見て、大変うれしく思いました。冬休みには「世界で一番安全な場所」であるお家でのふれあう時間をしっかりとることができて、一人一人のお家が「世界で一番温かい場所」になったと思います。また、お家でのふれあいこそが、3学期のエネルギーになっていると思います。



さて、1月17日（月）～27日（木）の期間は「なわとび運動」に全校で取り組みます。なわとびといえば、2重とびの世界チャンピオンである日本の鈴木勝巳（すずきかつみ）という人です。37才のときに2重とびを10133回とび続け、なわとび世界ギネス記録保持者でもあります。この鈴木さんがなわとびを始めたのは、小学校1年生の時です。体が弱く、学校を休みがちだった鈴木さんに、担任の先生がなわとびをすすめました。1年生の11月になわとびを始め、最初はうまくとべませんでした。こつこつと練習を積み重ねた鈴木さんは、翌年の春には2重とびがとべるようになり、2年生の3学期には2重とびを203回とび続け、校内なわとび大会で1位となりました。このことが自信となり、なわとびに熱中するようになるとともに、考え方が前向きに変わり、病気も自然とよくなっていったそうです。その後もトレーニングの一環としてなわとびを続け、80才を越えた今でも挑戦し続けています。

『継続は力なり』という言葉があります。小さなことでもたゆまず努力を続けていけば、やがては一つの大きなことを達成できるという意味です。一つのことに継続して取り組むことは、簡単なことではありません。でも、鈴木さんは「長く続けるためには、はじめから大きな目標を立てず、手の届く小さな目標を立てることが大切である。その小さな積み重ねが、やがて自分の人生を大きく変えていくことになる。」と言っています。皆さんも小さな努力の積み重ねを大切にしながら自分の力を信じて、それぞれの目標に向けて取り組んでほしいと思います。

3学期は思いのほか短く、学校に来る日が今日を入れて、1年生から5年生が50日。6年生は47日で卒業式を迎えます。1日1日を大切に過ごしていきたいですね。

### ～創立70周年今昔物語その8～

昭和54年、運動場に信号機を設置して交通教室を行いました。交通事故にあわないためにも交通ルールを守り、命を大事にすることは、昔も今も同じですね。



(校長 井田 寿)